

看護職員募集案内



ひとりひとりに。



川口街ある記

I ♥ KAWAGUCHI



交通

- JR京浜東北線「川口駅」下車 徒歩15分
- 埼玉高速鉄道「川口元郷駅」下車 徒歩5分
- 「川口駅」東口バス停11番・12番・14番乗り場(国際興行バス・東武バス)のいずれかに乗車[約7分]→「川口工業総合病院」下車 徒歩0分



医療法人 新青会 川口工業総合病院
〒332-0031 埼玉県川口市青木1-18-15

TEL.048-252-4873 FAX.048-252-4865
<http://www.kogyohsp.gr.jp/>



医療法人 新青会
川口工業総合病院

患者様のために、私たち看護師は家族のようでありたい。



認定看護管理者
看護部長 渡邊 くみ子

川口工業総合病院は1959年に発足してから、川口地区に医療を提供し、地域貢献を果たしてきました。2010年6月より医療法人化し、医療体制の整備・充実につとめ地域に必要な不可欠の医療を提供させて頂いております。

病院組織の中で一番人数が多く占めているのは看護師です。病院が成り立つために、一人ひとりの看護師にチカラを発揮してもらうことが大切です。資格を持っている医療人の一人として忘れてはいけませんが、患者様の視点です。資格の持っているプロとして恥じないように「あたたかい、心のかよう看護」をしてほしいです。

新人看護師が先輩看護師となるためには、知識を身に付け、経験を積み重ねる必要があります。院内外研修での学びの場は計画的に行っておりますが、日々の患者様との会話も学びの場です。会話の中にある訴えから、「どうのことだろう?」という意識で接する。新人看護師が入職し

た時に必ず言わせてもらっているのが「自ら学ぶ力・自ら考える力・自ら感じる力・自ら気付く力」この4つの力を付けてほしい。そうすれば、臨床の現場で一番必要な知識を学び、経験を積めます。ちょっとした知識、それがスタートラインになるはずです。

「患者様の視点に立ち、チカラを発揮できる環境」を作るのは、部長や師長の仕事です。常に、新人看護師やベテラン看護師たちと同じ目線になること。管理職であれば特に目線を低くすることが必要です。病院は患者様の治療の場であるが、それだけでなく、自分たちに何ができるか?仲間で議論をして、お互いで作り上げていくことが、自分の職場が楽しい…病院が好きでいられる。

入院患者様の生活の場がそのまま私たちの職場です。一つ屋根の下にいるのですから、家族のように関わり合いたいと私は思っています。

看護部理念

川口工業総合病院の看護師として、
地域の方々に選ばれる『あたたかい、心のかよう看護』と
『安全で 行き届いた質の高い看護』を提供します。

看護部 基本方針

1. 急性期病院の看護師としての役割を担い、地域連携に貢献します。
2. 患者様の立場を尊重した安全、安心を考慮した看護を実践します。
3. 看護の立場から病院経営、運営に参画します。
4. 看護師個々の力を充分発揮してチーム力を高め魅力ある職場づくりをします。
5. 研究意欲を養い、自己啓発と共に後輩指導の育成をします。

平成25年度 看護部目標

1. 新病院へのスムーズな移転をする。
 - ① 患者の安全を中心に綿密な計画立案を立てる。
 - ② 患者搬送時は計画立案どおり実践できるように全部署で協力し合う。
 - ③ 各部署の物品等も、搬送時の状況担当者の役割を決め実践する。
2. 安全で質の高い看護を提供します。
 - ① 電子カルテを活用し、効果的な看護ケアを実践する。
 - ② 固定チームナーシングの理解を深め「責任と継続のある看護」を提供する。
 - ③ 情報共有を常に心がける
3. 病院経営への参加
 - ① 病床稼働率アップに積極的に協力する。
 - ② 現場では患者さんに「元気・やすらぎ」を与える。
 - ③ 相手に「親切」であること。

病院概要

- 開設 1959年川口工業健康保険組合の直営病院として
設立2010年6月1日医療法人新青会川口工業総合病院に名称変更
- 院長 矢口 輝仁
- 看護部長 渡邊 くみ子
- 病床数 199床(入院基本料7対1)DPC対象病院
5病棟・手術室・内視鏡室・救急部・健康管理科・
医療連携室・療養支援室
- 承認基準 看護配置(7対1看護)救急指定・DPC対象病院・
運動療法 他
- 診療科目 内科、循環器科、神経内科、呼吸器内科、
アレルギー科、消化器センター外科、整形外科、
リウマチ科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、
泌尿器科、小児科、リハビリテーション科、麻酔科、
健康管理科、救急部
- 職員数 389名(パート含む・H25.6.1現在)
- 外来患者数 507.6人/日(H24年度)
- 入院患者数 176.4人/日(H24年度)
- 福利厚生 看護師寮、奨学金制度有り、他
- 院内保育園 2012年10月ひまわり保育園開設



病院理念

地域とともに歩む医療

～愛と誇りをもって信頼される病院を目指します～

基本方針

- ①地域住民、地域医療機関とともに密着した医療の提供
- ②患者様や家族とともに取り組む医療
- ③職員がともに尊重しあい協力して行うチーム医療

行動指針

1. 二次救急医療機関として地域に貢献します。
2. 急性期病院として他医療機関との連携を推進します。
3. 患者様の権利を尊重しプライバシーの保護に努めます。
4. 専門性を高める人材育成に取り組み質の高い医療を提供します。
5. 安心信頼される医療提供のための健全経営に努めます。

川口工業総合病院の看護師像

1. 一人ひとりが状況に応じた適切な判断と行動ができる看護師である。
2. 一人ひとりがあたたかい、思いやりのある看護師である。
3. 一人ひとりが自分に責任を持って行動ができる看護師である。
4. 一人ひとりが自ら学ぶ姿勢を持っている看護師である。
5. 一人ひとりが医療人としてのプライドのある看護師である。

教育理念

看護部理念に基づき、あたたかい看護、
質の高い看護を提供できる看護師を育成する

平成25年度教育目標

1. 安全、安心な看護を実践して行く為の能力
「知識・技術・態度」を養う。
2. チーム医療の一員として自律した看護師として
役割遂行できるよう支援する。
3. 後輩、看護学生に対して適切な指導ができる。
4. 業務改善を目指した研究的姿勢を持つことができる。

院内卒後研修一覧

看護部の理念を遵守した看護師を育成する。 全体研修

1. 看護の質を統一し、向上をはかる。
2. 自己啓発の必要を認識する。
3. 社会の求める看護に適應できる能力を養う。

1. 専門職として主体的に学習をする。
2. チーム医療の一員として役割と責任を自覚し、リーダーシップが発揮できる。
3. 看護の質向上を目指した研究的取組みができる。
4. 効果的な卒後研修につながる学習の場とする事ができる。

卒後1年目

1. 患者中心の看護が提供できるよう知識・技術・態度をマニュアルに沿って修得する。
2. 院内で企画された研修や勉強会に積極的に参加できる。
3. お互いの経験を共有する場として、視野を広げ、豊かな感性を磨く。

卒後2年目

1. 事例をまとめて院内発表することができる。
2. 日々の看護実践を振り返り、事例研究を通して今後の看護に活かすことができる。
3. ①他部署の役割を理解できる。
②プリセプターシップを理解できる。

卒後3年目

1. 看護研究に取り組み一連の流れを実践し、発表できる。
2. 日々の看護実践の中から研究問題を見出すことができる。
3. 組織の一員として後輩指導に眼を向けることができる。

卒後4年目

1. リーダーシップを理解し、自部署で実践できる。
2. リーダーとして自己の課題を明確にし発表できる。

卒後5年目

1. チーム医療メンバーが楽しく働ける方法を学ぶことができる。

中堅看護師

1. 自分のやりたい看護を見出す。
2. 専門性を看護実践に活かす。
3. 何事も自主的に行動し計画に沿って進めていく。

卒後1年目研修プログラム



感性を磨く「屋外にてブラインドワーク」



ワークショップ「今後に向けての心構え」

4月	入職者オリエンテーション	集団研修
5月	院外研修(新人看護職員研修) 看護協会について等 テーマ「五月病を乗り切るう!!」	
6月	院外研修(新人看護職員研修) 素敵な職業人を目指そう(接遇) 院外研修(新人看護職員研修) 新人のための感染管理/創傷ケア ME機器の取り扱いについて ＜その1＞(輸液ポンプ・シリンジポンプ)	
7月	「THE・体験夜勤!!」 全員が所属部署でプリセプターの勤務に合わせて準・深夜勤務を体験する。 医療ガス(酸素ボンベなど)の取り扱い方法	
8月	死生観について(エンゼルケア含む) ワークショップ・テーマ「命の大切さを考える」	
9月	院外研修(新人看護職員研修) 新人のための臨床検査の基礎知識	
10月	ME機器の取り扱いについて ＜その2＞(人工呼吸器)	
11月	ワークショップ・テーマ「モチベーションアップ!」 ①3分間スピーチ(アサーション含む) ②フリーカード法	
12月	心電図について	
1月	急変時の対応 ＜その3＞復習演習(BLS、ACLSなど)	
2月	1年間のまとめ ワークショップ・テーマ「患者様からの学び～事例の振り返り～」 3分間スピーチ(レポート提出)、反省会(アンケート記入)、座談会	

部署・病棟紹介

看護部長

副看護部長

2A病棟 (外科)

3A病棟 (婦人科・耳鼻科・眼科・皮膚科・整形外科・共用)

3B病棟 (整形外科)

4A病棟 (急性期内科・循環器・呼吸器)

4B病棟 (一般内科・慢性期内科)

手術室・中央材料室

外来・内視鏡室・カテ室・救急部・健康管理科

療養支援室

委員会

教育委員会

ICT(感染対策)委員会

看護部事故防止委員会

クリニカルパス委員会

退院調査委員会

DPC委員会

調査委員会

安全委員会(事故対策・ICT・労働安全)

プリセプター委員会

CS委員会

実習指導者会

NST委員会

睦 会

災害対策委員会

褥瘡対策委員会

2A病棟

2A病棟は、ベッド数33床の消化器外科病棟です。

手術を受ける患者様や化学療法を受ける患者様、終末期の患者様が入院されています。

私たち看護師は、医師や薬剤師と協力し、患者様やご家族が安心して入院できるように日々勤めています。また、チームカンファレンスを実施し、一人一人にあった看護・ケア・言動を心がけ患者様の1日も早い社会復帰のために努力しています。



3A病棟

3A病棟はベッド数40床、耳鼻科・眼科・婦人科・皮膚科をはじめ全科に対応する混合病棟です。

様々な疾患・看護を幅広く学び、経験する事ができます。スタッフは年齢層が広く勤務体制もパート・日勤勤務・夜勤専従など様々ですが、お互いの立場を理解し尊重して、チームワークよく働いています。

入退院が多く、慌ただしい毎日ですが、スタッフ一同協力して「あたたかい心のかよう看護」の提供を目指しています。



3B病棟

3B病棟は整形外科50床の単科病棟です。

主に下肢の人工股関節やスポーツ外傷の手術を目的とした幅広い年齢層の患者様が入院されている病棟です。病院全体が明るく活気に満ちチームワークも良好です専門的知識、技術を磨き、患者様が一日も早く社会やスポーツなどの現場に復帰出来るように願い看護ケアを提供しています。



4A病棟

4A病棟は、主に循環器や呼吸器疾患の患者様が入院されている内科病棟です。

時には、PCPSやIABPなど、高度の治療を行うこともあります。そのため、日々の清潔・排泄の援助や高度医療のケアなど、多岐にわたる業務に奮闘する毎日ですが、看護師一人一人が、協力しながら思いやりをもって患者様のケアを提供しています。

また、エキスパートナースを目指すため、定期的に勉強会を行って自己研鑽しています。



4B病棟

4B病棟は、脳血管疾患の患者様が多く入院されるベッド数42床の内科病棟です。

急性期の治療からリハビリの導入・実践まで、治療の経過にあわせて幅広い看護の提供をしております。

スタッフ一同、個々の患者様に合わせた看護ケアを心がけ、他職種との連携を図りながらチーム医療を実践しています。

治療を終えて、患者様が笑顔で退院できることを目標に、明るく思いやりのある看護の提供を目指しています。



手術室・中央材料室

当手術室は、4室あり、年間1,800件の手術を行っています。

整形外科関節鏡手術では日本トップクラスの症例数を実施し、専門的な技術・知識を勉強し手術看護を実践しています。

入院手術の際には、全例手術前にお部屋に伺い、患者様の不安を最低限にできるように、また、個々の患者様に合わせた、あたたかい看護を目指しています。



外 来

当外来の診療科は18科あり、4チームに分かれています。
1FA(循環器内科・呼吸器内科・神経内科・糖尿病内科・心臓血管内科・総合診療科・救急部・心臓カテーテル室・耳鼻科) 1FB(整形外科・眼科・婦人科) 2FA(小児科・皮膚科・泌尿器科・健康管理科) 2FB(消化器センター・脳外科・内視鏡)で固定チームナーシングを取っています。

各外来は専門性が高く、外部研修に積極的に参加したり、看護一人ひとりが専門的知識・技術を高め病院の窓口として、常に笑顔と思いやりを大切に患者様に信用・信頼される病院を目指しております。

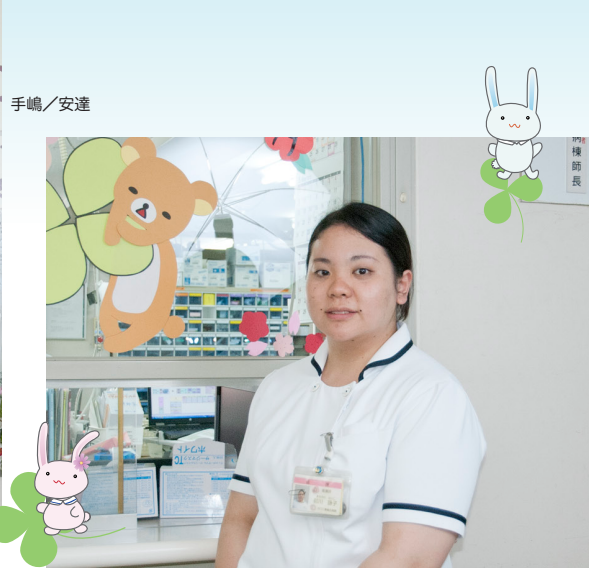


療養支援室

療養支援室は、平成25年2月に新たに開設されました。主な業務は、退院調整です。現在は、院内の退院調整システムを構築している段階です。院内の多職種との連携と調整・各病棟看護師・外来看護師の協力のもと医療チームの提供の充実を心がけています。

目標に、「患者・家族の意思を尊重しながら、退院後の療養生活がその人らしく生活できるような効果的で効率的な支援を行なう」とし、切れ目のない医療・看護が提供できる体制を整えています。





新人看護師 入職2ヶ月経過して 4B病棟 手嶋・安達

私たちは4B病棟に配属されて2ヶ月が経過し少しずつ病棟の様子がわかるようになりました。命をあずかる現場に触れ、不安の多い毎日ですが、プリセプターをはじめ、病棟看護師の皆さんがとても優しく、業務がわからないことも丁寧に教えて下さり、日々学ぶことが楽しく充実しています。1日振り返り、学んだことや反省を次に繋げることで、根拠や自信を持って行えることも増えてきました。まだまだ未熟ですが、4B病棟の看護師として力になれるよう頑張りたいと思います。



福田／大和

新人看護師入職2ヶ月経過して 4A病棟 福田・大和

私たちは、循環器・呼吸器疾患の患者様が入院される4A病棟に配属となり、2ヶ月が経過しました。まだまだ不安や緊張はありますが、それでも先輩方からの温かい声がけやご指導のお陰で病棟の雰囲気にも慣れてきました。少しずつですが、業務もできることが増えてきて、患者様の関わりも増え、日々充実感を持ちながら働いています。難しい分野ではありますが、早く4A病棟の戦力となり、患者様のお役に立てるよう日々頑張っていきたいと思っています。

卒後3年目になって 3B病棟 奥原

整形外科病棟に配属されてから3年目となり、気づけば自分が後輩に指導する立場となりました。日々の業務にも慣れ、余裕を持って看護に取り組めるようになったことで、以前よりも整形外科病棟で働くことの楽しさややりがいを感じられるようになりました。まだまだ看護師として成長過程にあり、先輩方にご指導いただきながら日々励んでいきたいと思っています。



奥原



前川

2年目をむかえて 3A病棟 前川

1年目は右も左もわからない状態で、毎日覚えることや学ぶことが多く、緊張の連続でした。最近では日々の業務の中にも少し余裕ができて仕事を楽しめることが多くなりました。色々な科の患者様が入院するこの病棟で2年目としての責任を持ち、スタッフと患者様両方に信頼される看護師を目指していきたいと思います。

ち、スタッフと患者様両方に信頼される看護師を目指していきたいと思います。



加藤

4年目になって 2A病棟 加藤

就職して4年目となりましたが、新人看護師を教える立場になり、共に勉強しながら働いています。消化器外科病棟では手術をする患者様だけでなく、化学療法や終末期である方などさまざまな患者様がいます。スタッフ同士声を掛け合い、情報共有をして個々に身体的、精神的に看護を行っていくよう心がけ日々努力しています。何かわからないことがあれば親身になって相談のしてくれるスタッフばかりでとても働きやすい職場です。

先輩看護師の声

看護部のマスコットキャラクター誕生
看護部職員によって「USAGI」が誕生しました。名前は「ハンド君とアイちゃん」です。名前の由来は、看護の「看」という字は「手と目」で手をかざしてよく見ると言う意味が込められています。『手に心をこめて人の心に触れること』ができるようにと手をハンド君、目をアイちゃんとしました。

ファーストレベル研修受講を終えて 4A病棟 鈴木

研修は、様々な分野の方が講師として指導して下さい、とても有意義な内容でした。グループワークで、自分のおかれている立場や現場の実情など広い視野をもって見直すことができたと思います。また私の強み・弱みを知り「基軸」が明確になりつつあります。今後、学んだことを実践できるよう、自己学習・啓発に努め、病棟のリーダーとして自覚を持ち、スタッフ指導にあたるよう姿勢の中で活かしていきたいと思います。

鈴木主任



卒後5年目になって 手術室 井草

卒後5年目になり、手術室看護師として周囲の状況把握や、自主的な行動がさらに求められます。安全でスムーズな手術の為には専門的な知識、技術はもちろんスタッフ同士のコミュニケーションや医師、他部署との連携が不可欠です。

また、常に情報交換を行いスタッフ全員が共通認識の下、手術を行っています。手術という患者様にとっての不安を少しでも和らげられるよう手術室看護師としての責任を持ち積極的な言動を心がけて行きたいと思っています。

井草



上野主任

新主任になって 2A病棟 上野

2月から外科病棟の主任看護師となった新米主任です。まだまだ未熟ですが、スタッフの皆さんがベッドサイドで気づいた思いをチーム全体で患者様のために形にしていけるよう、師長、副師長はじめスタッフの皆さんの力を借りて頑張りたいと思います。入職時、2A病棟の男性看護師は一人でしたが、徐々に増えていきました。看護するという事に変わりはないですが、男ならではの視点も生かして一緒に看護してみませんか？



星野主任

実習指導者研修を終えて 3A病棟 星野

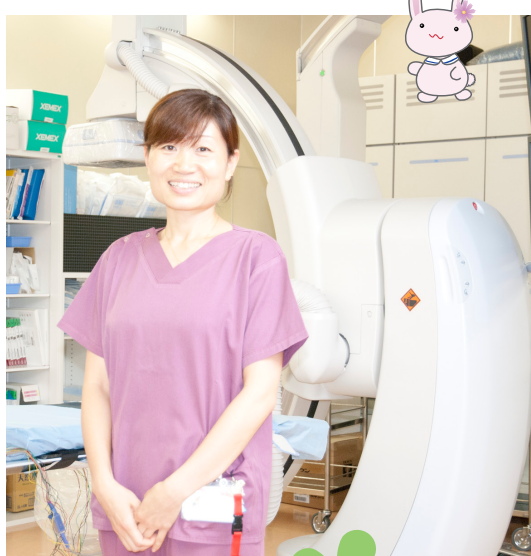
実習は学生にとって緊張の連続だと思います。少しでも緊張を和らげ、臨床現場での『看護の楽しさ』を伝えられたらいいなと思っています。昨年担当した学生が「工業病院で働きたい」と言ってくれました。病棟スタッフの明るく元気な雰囲気もよかったのでしょうか。そして今年新入職員の顔ぶれの中から彼女を見つけました。これからは同僚として一緒に働けると、とても嬉しかったことを覚えています。今後も「看護って楽しい」と学生に思ってもらえるよう、実習指導に携わってまいります。



相田副師長

新副師長になって 4B病棟 相田

当病棟は、高齢者や認知症患者が多く入院されていますが、どの患者様に対しても、明るく誠意をもって接することを心がけています。病棟副師長として、師長をサポートしながら主任・スタッフと協力し質の高い看護が提供できるよう、毎日取り組んでいます。また、スタッフにとって働きやすい職場環境は重要です。より良い職場環境づくりも、大切な仕事のひとつだと考えます。今後も、師長と協力し信頼できるスタッフとともに、前進していきたいと思います。



結城

私の職場紹介 外来 結城

約3年半のブランクから職場復帰を決め、入職して早1年が経ちました。久しぶりの職場に緊張と不安の毎日でしたが、親切なスタッフのみなさんに助けられ、今では毎日楽しく働かせていただいています。私にとって新しい分野である救急外来と心臓カテーテル室の仕事は、幅広い知識を必要とする現場であり、勉強の毎日です。これからもチームの一員として戦力になれるよう経験を重ね知識を深め、日々励んでいきたいと思っています。